

婦人科悪性腫瘍における宿主抗腫瘍免疫能についての研究

患者様の情報の研究利用についてのお知らせ

本研究の目的

本研究は、慶應義塾大学医学部産婦人科で行っている研究です。

目的は、婦人科悪性腫瘍(子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌)における免疫細胞の働きを調べることです。その上で、将来的に婦人科悪性腫瘍に対する新規治療として免疫療法の実用化を目指していくものであります。

本研究の概要

平成6年から平成17年に慶應義塾大学病院産婦人科において婦人科悪性腫瘍の手術を受けられた患者の皆様のご摘出病理標本のうち、診断で使用されず保存されている検体を微量用いて、特殊染色を行い、免疫細胞を顕微鏡下に観察します。また、診療記録(カルテ)の中から、各種の診療情報(年齢・組織型・進行期・予後など)を記録した上で、免疫細胞の情報とともに分析いたします。研究対象として最大80名程度の患者の皆様のご手術検体および診療録の情報を利用させていただきます。

研究期間 平成21年10月1日～平成24年9月30日

プライバシーの保護に関して

研究において利用させていただく検体は既に診断治療のために採取されたものの残りをを用いるので、患者の皆様への身体的負担はありません。また診療情報は、すべて日常の診療業務の中から生み出されたものであり、研究自体を目的として収集されたデータではありません。すべてのデータは、患者の皆様個人を直接特定できない匿名化情報として収集された上、厳格に保護されます。またこれらの研究課題のすべては、慶應義塾大学医学部倫理委員会における審査を受け承認を得られたものです。

もしこの研究についてのご質問等がおありの場合は、研究責任者までいつでもご質問ください。また御自身の情報を本研究に利用することについて、ご了承いただけない場合には、以下の研究責任者に御連絡ください。なおその場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは、全くございませんのでご安心ください。

平成21年10月1日

研究責任者

慶應義塾大学医学部産婦人科教室 青木大輔

連絡先: 03-3353-1211 (内線 62391)